

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(4/5)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
未来創造「新・ものづくり」特区 (浜松市)	正	3.8	4.0 進捗度 ・産地力の強化 113% ・企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大 155%	3.9 規制の特例等 ・市街化調整区域への企業立地に係る農振法・農地法のガイドラインの弾力的運用 財政支援等 ・支援利子補給金 5件 地域独自の取組 ・市独自の、企業立地促進支援事業 等	3.5	<p>・全体としては、具体的な取組や実績もあり、評価指標についても目標値をクリアしているケースが多くて評価できる。</p> <p>・耕作面積が増加していることや企業の立地が進んでいることは評価できるが、それが農業や製造業の産出額の増加に結びついていない点で懸念が残る。</p> <p>・産業集積による「新・ものづくり特区」としての生産性・新技術開発力を高められる地域となることが目標であるので、当初の計画にある技術開発型製造業の集積形成に向けた事業も進める必要がある。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)